記　者　発　表　資　料

平成 26 年 12 月 4 日
横浜市歴史博物館
（公財）横浜市ふるさと歴史財団

横浜市歴史博物館

企画展「横浜市指定・登録文化財展」「横浜の遺跡展－古墳の出現・横浜の集落遺跡と前期古墳」

「横浜市指定・登録文化財展」

横浜市が昭和６２年に制定した横浜市文化財保護条例に基づき、指定・登録された文化財を公開します。今回は、横浜市が平成２６年度に指定した文化財４件と、平成１８・２５年度に指定した文化財を紹介します。

「横浜の遺跡展－古墳の出現・横浜の集落遺跡と前期古墳」

古墳の出現は、「邪馬台国」があった３世紀まで遡ると言われています。列島各地は多くの「クニ」に分かれていて各地に固有な文化があったことが明らかになっています。本展示では、横浜における古墳出現期について、土器・集落・墓制に焦点を当てて紹介します。

展示の見どころ

平安仏２体を展示します（指定・登録文化財展）

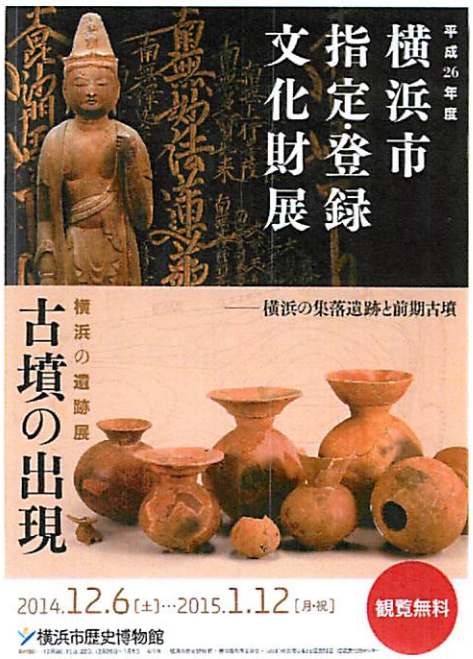
数年ぶりに再開された新指定の市指定・登録文化財の展示と、１８年度に指定されたものとあわせて、２体の平安仏を展示します。

横浜の古墳出現期を紹介します（横浜の遺跡展）

古墳出現期に向け、横浜市域内の固有な文化が統合されていった様子を、土器・集落・墓制に焦点を当てて紹介します。

観覧無料です

少しでも多くの市民の方に知っていただけるように、この展示は観覧無料となっています。



名　　称	「横浜市指定・登録文化財展」・ 「横浜の遺跡展－古墳の出現・横浜の集落遺跡と前期古墳」 主催：横浜市歴史博物館・横浜市教育委員会・（公財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
開催期間	平成 26 年 12 月 6 日（土）～平成 27 年 1 月 12 日（月・祝）
休 館 日	月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、年末年始（12 月 28 日～平成 27 年 1 月 5 日）
開館時間	午前９時～午後５時（入館は午後４時３０分まで）
観 覧 料	無料（常設展は別料金）
会　　場	横浜市歴史博物館　都筑区中川中央１－１８－１ 市営地下鉄「センター北」駅下車徒歩５分
ＵＲＬ	http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/

講演会（埋蔵文化財センターへ事前申込）
1/11（日）「ヤマタイ国時代の東日本－古墳出現期のかながわ」
講　師：西川修一（神奈川県立旭高等学校）
　　古屋紀之（当財団埋蔵文化財センター）
時　間：13:30～16：00
定　員：150人　　参加費：500円

フロアレクチャー
日　程：12/20（土）、1/11（日）
時　間：12/20 11:00～、14:00～
　　1/11 11:00～のみ
定　員：各回 30 人（当日先着順）
参加費：無料

「横浜市指定・登録文化財展」

木造観音菩薩立像（光明寺）

木造薬師如来立像（薬王寺）

板曼荼羅 日祐筆（上行寺）

「横浜の遺跡展－古墳の出現・横浜の集落遺跡と前期古墳」

稲荷前 16 号墳の底部穿孔壺

新羽南古墳遺物

画像資料をご希望の場合は下記へご依頼下さい。メールでお送りします。
横浜市歴史博物館（担当：本間）　ＴＥＬ０４５－９１２－７７７７

お問い合わせ先
横浜市歴史博物館　副館長　平野 卓治　Tel 045-912 -7777
（公財）横浜市ふるさと歴史財団　埋蔵文化財センター　所長　遠藤 廣昭　Tel 045-890 -1155

平成26年度

横浜市指定・登録文化財展

横浜の遺跡展

古墳の出現

——横浜の集落遺跡と前期古墳

2014.12.6〔土〕…2015.1.12〔月・祝〕

観覧無料

横浜市歴史博物館

休館日——12月8日、15日、22日、12月28日～1月5日　主催——横浜市歴史博物館・横浜市教育委員会・（公財）横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター

平成26年度

横浜市指定・登録文化財展

横浜市は、昭和62(1987)年12月に横浜市文化財保護条例を制定し、市域の歴史や文化、自然を理解するうえで重要な価値をもつ様々な文化財、史跡等を指定・登録し、その保存・活用を行っています。平成26年度までの指定文化財は156件、地域文化財としての登録は93件を数えます。

今回は、横浜市が平成26年度に指定した文化財4件と平成18・25年度に指定した文化財を紹介します。横浜市内の貴重な文化財資料をじっくりとご覧ください。

曼荼羅本尊　日祐筆(上行寺)

鶴見川流域の廻り地蔵(新羽町三谷戸)

鶴見川流域の廻り地蔵(池辺町八所谷戸)

展示資料

〈**彫刻**〉木像観音菩薩立像　光明寺(港南区)所有　〈**書跡・典籍**〉曼荼羅本尊　日祐筆　上行寺(金沢区)所有　〈**歴史資料**〉板曼荼羅　日祐筆　上行寺(金沢区)所有　〈**無形民俗**〉八所谷戸の廻り地蔵　都筑区池辺町　以上平成26年指定指定　〈**無形民俗**〉新羽三谷戸廻り地蔵　港北区新羽町　平成25年指定　〈**彫刻**〉木造薬師如来立像　薬王寺(磯子区)所有　平成18年指定

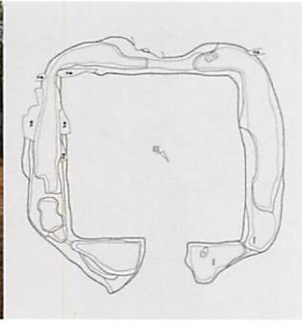
横浜の遺跡展

古墳の出現

――横浜の集落遺跡と前期古墳

近年、古墳の出現については、魏志倭人伝に登場する「邪馬台国」があった3世紀まで遡ると言われています。そのころ、列島各地は多くの「クニ」に分かれていたようで、考古学的にも弥生時代の終わりごろに各地に固有な文化があったことが明らかになっています。現在横浜市域となっている地域でも固有な土器を使用する文化が栄え、古墳時代に向けて地域内が統合されていった様子がわかってきました。本展示では、横浜における古墳出現期について、土器・集落・墓制に焦点を当ててご紹介します。

新羽南古墳遺物



稲ヶ原遺跡前方後方形周溝墓

主な展示資料

- 北川谷遺跡群(権田原遺跡・北川表の上遺跡・大原遺跡・北川貝塚)、寺谷戸遺跡、三殿台遺跡などの集落遺跡の出土品
- 稲ヶ原遺跡周溝墓、新羽南古墳、観福寺北古墳群、稲荷前古墳群、虚空蔵山古墳などの古墳の副葬品と土器類

◆担当学芸員・調査員による展示解説

12月20日(土)　11:00～、14:00～の2回開催
1月 11日(日)　11:00～1回開催

「文化財展」と「横浜の遺跡展」の解説をあわせて実施。各回40分程度。参加は無料です。開始15分前までに研修室にお集まりください。

◆「横浜の遺跡展」関連講演会

「ヤマタイ国時代の東日本 ――古墳出現期のかながわ」

◆**日時**――1月11日(日)　13:30～16:00(13:00開場)

◆**講師**――西川修一(神奈川県立旭高等学校)
古屋紀之((公財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター)

◆**定員**――150名(抽選)　◆**費用**――500円(資料代)

◆**申込方法**――往復はがきに、講演会「ヤマタイ国時代の東日本」参加希望と明記の上、住所・氏名(ふりがな)・電話番号・返信用宛先を記入し、埋蔵文化財センター宛てにお送りください。

◆**申込締切**――2014年12月19日(金)必着

応募者多数時は抽選　※定員に余裕がある場合に限り当日参加も可

◆**申込宛先・お問い合わせ**――

(公財)横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター
〒247-0024 横浜市栄区野七里2-3-1
Tel.045-890-1155　Fax.045-891-1551

干支土鈴の展示

博物館常設展示室前の廊下にて干支の土鈴の展示を行います。

博物館開館20周年感謝デー

2015年1月31日(土)・2月1日(日)

全館無料　楽しいイベント盛りだくさん

〈同時開催〉

平成26年度 横浜市立学校総合文化祭

●中学校社会科作品展
2014年12月20日(土)～2015年1月8日(木)

●中学校社会科研究発表会
2014年12月20日(土)

主催:横浜市教育委員会

〈次回企画展予告〉

「鶴見川流域のくらし」(仮)

「民俗に親しむ会」参加の市民と鶴見川流域を源流から河口まで歩いたフィールドワークの成果を活かし、流域のくらしの諸相を紹介します。

1月31日(土)～3月15日(日)

指定文化財を題材にした歴史講座

「中世史講座」12月7日(日)
「民俗講座」12月21日(日)　各日14:00～15:30

定員:40名・当日先着順　参加費:500円

横浜市歴史博物館

開館時間 ―― 9:00～17:00(券売は16:30まで)
常設展示観覧料 ―― 一般 400円
大学生・高校生 200円／中学生・小学生 100円

駐車場あり(1時間200円)

交通:市営地下鉄「センター北」駅下車、徒歩5分　〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-18-1　Tel.045-912-7777　Fax.045-912-7781　http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/